

(5) 東部地域

ア 地域の現状

(ア) 人口と世帯数（別紙資料）

(イ) 地域の現状

東部地域は、本市の東部に位置し、里山景観を残す山口・津山・干布・荒谷地区の一部と山形の棚田 20 選にも選ばれた美しい田園風景と山村の面影を残す田麦野地区や天童高原から構成され、緑豊かな自然環境に恵まれています。

また、里山の地域については、豊かな自然を生かした観光・レクリエーションの場としての機能を果たしており、山間地域は、天童市の豊かな恵みをはぐくむ森林資源や緑の拠点地域であり、木材の生産のみならず、水資源のかん養や土砂流出防止、二酸化炭素の吸収などを通して、自然環境の保全に極めて重要な機能を担っています。

土地利用は、平地から東部山間地の裾野にかけて果樹園地が広がり、主要道路沿いに集落が連たんしています。田麦野地区や天童高原を含む山間地域は、緑豊かな広大な山林が広がっています。

また、若松寺や格知学舎、ジャガラモガラなどの国、県、市指定の文化財などの歴史的な地域資源と豊かな自然にあふれた県立自然公園や天童高原スキー場、キャンプ場といった自然資源に恵まれています。また、国道 48 号沿いの果樹園地帯は、観光農業の中心としてにぎわいを見せています。

住環境については、公園や生活道路の整備が進んでいないところが見られるほか、公共交通の廃止等により、中心市街地への交通利便性に劣っているため、高齢者や学生などの交通弱者の生活に不便をきたしています。

さらに、既存集落において、人口の減少や高齢化の進展による地域の活力の低下が懸念されていますが、本地域の緑豊かな集落環境と調和を図りながら、地域コミュニティの維持と発展を促す、民間活力等を活用した田園集落の整備が進められています。

イ 地域の課題

(ア) 人口減少社会への対応

a 田麦野地区の高齢化率は 48% を超えており、限界集落の予備軍状態にあり、地区を維持する上で定住人口の維持・確保が課題となっています。

b 地域から人が減少することが一番の課題であり、市全体のバランスの取れた定住人口の確保が求められています。

(イ) 少子高齢化社会への対応

a 急激な少子高齢化により、子どもたちの減少が課題となっています。

b 高齢者福祉施設等が建設整備されることが求められています。

c 空き家でも住むことが可能な建物や、倒壊の恐れのある廃屋の建物があり、適正管理に向けた取組が求められています。

(ウ) 地域コミュニティの維持と景観の保全

- a 中山間地域では、耕作者の高齢化により労働力の低下が進むとともに、有害鳥獣による被害の拡大により耕作意欲が減退し、耕作放棄地が増加しています。
- b 天童高原の整備については、豊かな自然環境を保全しつつ、天童高原の資源や特色を生かした整備を実施していくことが望まれています。
- c 押切川周辺で草が繁茂し、景観上好ましくない状況にあるため、河川清掃等で地域と一体となって管理していくことが求められています。
- d 田麦野地区は「やまがたの棚田 20 選」にも選ばれており、PR活動を進め、一層憩いの場となることが望まれています。
- e 農業の担い手不足や高齢化により、耕作放棄地が増加しており、農業・農村が持つ多面的機能が失われつつあります。
- f これまでの地域性が失われる恐れがないような、地域に密着できるミニ団地の整備が求められています。
- g 生活道路や公園の整備が遅れている集落部の居住環境の整備が求められています。
- h 森林が持つ、水資源のかん養や土砂流出防止、二酸化炭素の吸収などの公益的機能を保全・充実させる必要があります。

(イ) 交流人口の拡大

- a 仙台圏等の誘客を意識した様々なPR活動を展開して観光客を増やし、観光農業の活性化を図っていく必要があります。
- b 公認のパークゴルフ場である小原のスーパーリバーパークは、なお一層の利用者の増加が予想され、地域の活性化につながることを期待されています。
- c 若松寺や格知学舎、ジャガラモガラをはじめ、国、県、市指定の文化財などの歴史的な地域資源を活用して交流人口を拡大させる必要があります。

(オ) 安全・安心に暮らせるまちづくり

- a 国道48号の渋滞緩和対策や、歩道の早期整備による子どもたちの安全な通学路の確保が課題となっています。

(カ) 低炭素型都市の形成

- a 予約制乗合タクシーは、事前に予約が出来ない場合や、急に必要になった場合など、不便を感じている状態にあるため、特に高齢者にとってより利用しやすい方法を検討していく必要があります。

ウ 地域の将来像と目標

(ア) 地域の将来像

豊かな自然環境や観光資源に恵まれ人やものが交流する地域づくり

「農」と「森」の魅力で広げる交流地域づくり（現マスタープラン）

(イ) 地域の目標

国道48号やスーパー農道沿いに点在する歴史・文化的資源と連携した観光農業や、豊かな自然を利活用した観光・レクリエーション、生産基盤及び農業施設の整備により生産性を向上させ、農林畜産業の振興を図ります。乱川や押切川、原崎沼など

の水辺空間の整備や公園などの住環境の整備により、緑豊かな里山景観と調和した快適な農村空間を形成し、地域の定住化・活性化に向けた土地の利活用や地域住環境の整備を計画的に促進します。

また、里山の森林地域は、野生鳥獣と人間活動の緩衝地域として適切に機能するよう管理と保全に努めます。

森林が持つ、水資源のかん養や土砂流出防止、二酸化炭素の吸収などの公益的機能を保全・充実させるため、市行造林を中核として、長期にわたり積極的な育成と植樹を進めます。

また、都市住民との交流やふれあいを深めるグリーン・ツーリズムを積極的に促進し、豊かな自然を生かしたレクリエーションの場として利活用を促していきます。

エ 地域づくりの基本的な方針

(ア) 機能が集約されあらゆる世代への優しさを備えた地域づくり

a 地域包括ケアシステムの構築をめざして、地域密着型社会福祉施設の開設を促進し、きめ細かなサービス基盤整備を図ります。

b 空き家台帳を作成し、管理不全な空き家の所有者への是正指導と要請を行い、空き家等に係る事故、犯罪及び火災の防止並びに生活環境の維持及び改善を図り、安全で安心な地域社会を形成します。

(イ) 自然環境と調和し地域コミュニティを維持・増進する地域づくり

a 減少傾向にある田園集落の定住人口を確保し、地域コミュニティの活力を維持・発展させることを目的として、民間活力の導入による田園型住宅地の整備と供給を促進します。また、緑豊かでゆとりある生活環境で定住を志向する市民ニーズに応えるため、優良田園住宅認定制度を活用するとともに、集落部における民間等の開発計画については、田園集落の土地利用との調整を図り、地区計画の設定を行った上で整備を促進します。

b 農業・農村の持つ多面的な機能を認識し、耕作放棄地の発生を防止するとともに、その解消に努め、良好な田園景観の保持に努めます。

c 天童高原については、天童高原整備開発基本構想に基づき計画的に施設・設備を整備し、草原や樹林からなる緑豊かな景観を保全するとともに活性化を図ります。

d 「きれいな川ですみよいふるさと運動」などの河川愛護運動を積極的に展開し河川が本来持っている豊かな自然環境を保全し、景観を守ります。

e 人工かん養施設としての逆さ井戸を設置するなど、地下水を適切に管理し、地盤沈下や地下水の枯渇を防止し西部地域の地下水の水位を保ちます。

f 「やまがたの棚田 20 選」に選ばれた田麦野地区の棚田について、保全に努め景観を確保します。

g 若松寺や格知学舎、ジャガラモガラをはじめ、国、県、市指定の文化財などの歴史的な地域資源を活用して、国道 48 号と東部スーパー農道沿線の観光農業の活性化を図り、仙台圏との市民相互の交流人口の拡大を図っていきます。

h 小原の公認のパークゴルフ場を含むスーパーリバーパークのより一層の利用者増

加を図り、山口地域の活性化を図ります。

i 田園集落の居住環境については、集落が持つ固有の文化や景観を生かしながら、生活道路の隘路の解消や地域の人々が集える公園を整備します。

j 水資源のかん養や大気の浄化、レクリエーション機能といった森林の持つ多面的な機能を生かすため、森林の保全に努め公益的機能の維持、増進を図ります。

(ウ) 安全・安心で環境に対する負荷の少ない地域づくり

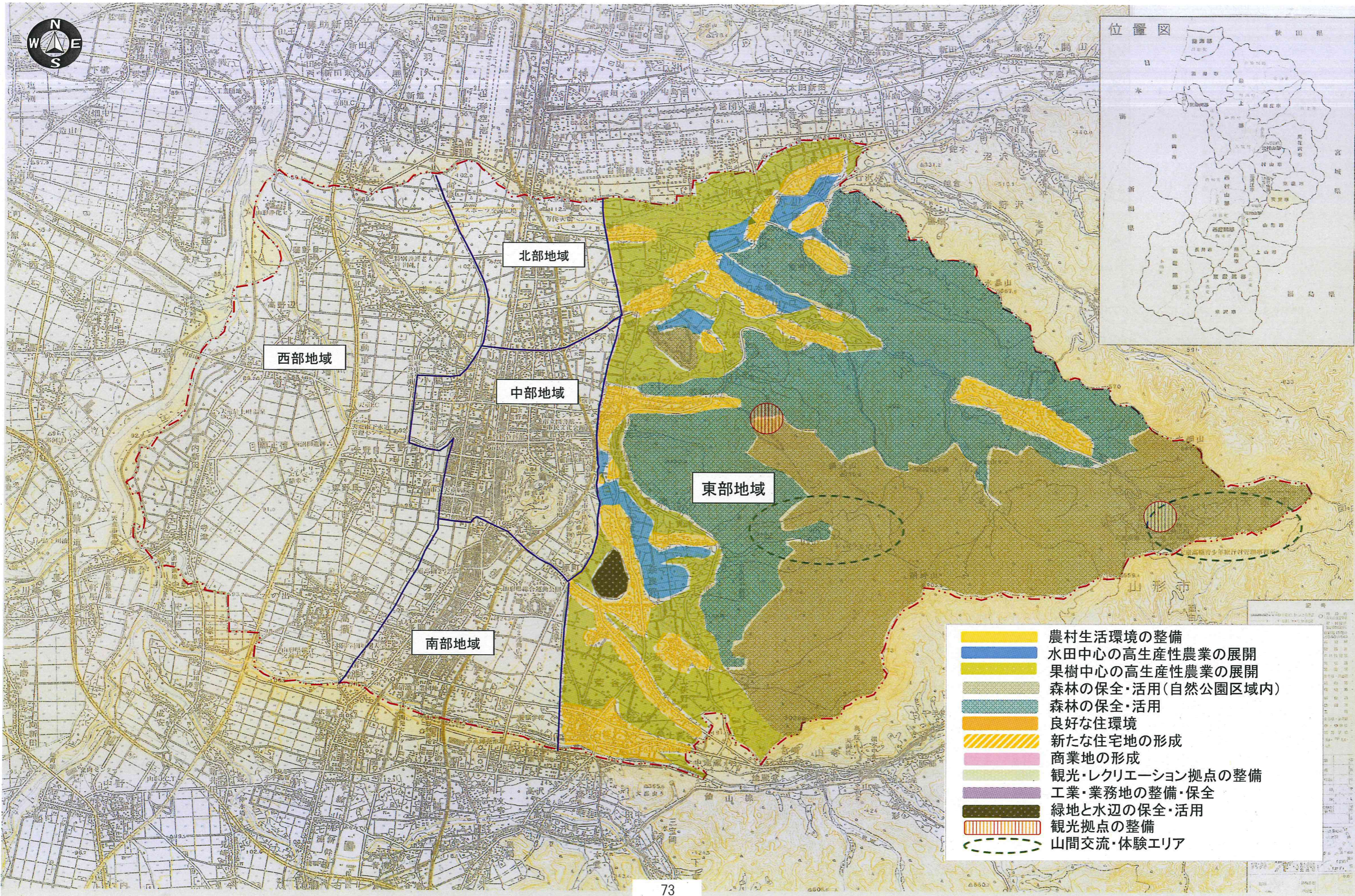
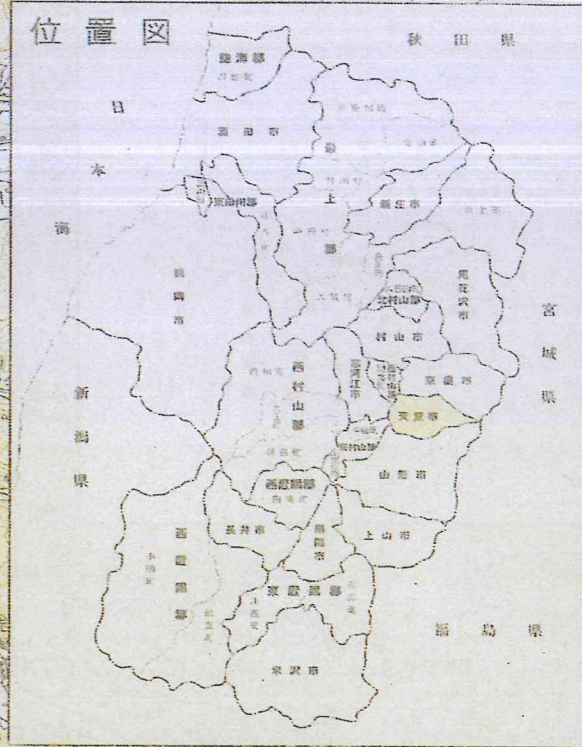
a 国道 48 号の交通量の増大に伴う渋滞の緩和や、歩道などの交通安全施設の整備について、関係機関に要望を行っていきます。

b 予約制乗合タクシーの予約時間や運行形態、運行経路等の見直しを適宜行い、利便性の向上を図り、交通弱者対策を進めます。

(イ) 地域の産業が持続的に成長・発展する地域づくり

a 国道 48 号や東部スーパー農道周辺の農地は優良な果樹園地帯であり、もぎ取りを中心とした観光農業の基盤となる広域幹線道路の整備促進を図っていきます。

また、南東部に広がる果樹園地帯については、農業の振興や交流人口の拡大を図るため、観光地である山寺への近接性を生かした観光農業を促進します。



北部地域

西部地域

中部地域

東部地域

南部地域

-  農村生活環境の整備
-  水田中心の高生産性農業の展開
-  果樹中心の高生産性農業の展開
-  森林の保全・活用(自然公園区域内)
-  森林の保全・活用
-  良好な住環境
-  新たな住宅地の形成
-  商業地の形成
-  観光・レクリエーション拠点の整備
-  工業・業務地の整備・保全
-  緑地と水辺の保全・活用
-  観光拠点の整備
-  山間交流・体験エリア

